

有限会社住空想建築工房 SDGs宣言書



当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2024年4月30日

有限会社住空想建築工房
代表取締役 田中 寿一

- ◆経営方針
先義後利三方よし
- ◆目指す姿
地域No.1の提案企業

SDGsの達成に向けた取り組み

地産地消の推進

地域産の材料・食品・製品などの地域資源を積極的に活用し、地産地消・地産外商を推進します。

<具体的な取り組み>

当社食品事業部にて自社デザイン店舗を直営店で運営しその店舗で地産食材に特化した飲食店の運営を目標とする。地域の魅力の発信基地とする。(店舗内装 + 地産材)

— 関連ゴール —



地域活性化・産業振興

持続可能な地域づくりのため、地域の社会的・経済的な活性化の取り組みを行います。

<具体的な取り組み>

自社デザイン店舗を通年で2軒出店することを目標とし、明石市の地域活性化に貢献。

— 関連ゴール —



従業員のボランティア活動の促進

より良い地域づくりに貢献するため、従業員のボランティア活動参加をサポートします。

<具体的な取り組み>

地域のボランティア活動に毎年全社員が参加するために勤務時間内での参加を許可。

— 関連ゴール —



社内の声の把握

一体感のある経営をめざして、社員の声を積極的に収集し、改善検討を通してスパイラルアップする組織を目指します。

<具体的な取り組み>

2025年度までにコンプライアンスやハラスメントに関する相談・通報窓口の設置完了 / 社員との定期的な対話として労使懇談会を1か月に1回開催 / 社員満足度調査として年間1回社員満足度調査を実施

— 関連ゴール —



SDGsとは

2015年に国連で採択された「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称。2030年までに持続可能なより良い社会を実現するために取り組むべき17のゴール、169のターゲットが掲げられている。

